

会議の実施日時	令和3年10月28日 15:30~17:07 令和3年度 第1回
次第3 令和3年度第1回備北地域医療構想調整会議	
(1) 協議事項	
ア 令和3年度実施スケジュールについて	
<p>○ 事務局から資料1によって協議事項アについて説明し、令和3年度実施スケジュールについては、異議なく原案どおり決定された。</p> <p>○ 会長から、昨年度の庄原赤十字病院のダウンサイジングに関する合意に関連し、今年度の病床削減を見送った経緯について発言を求められ、中島委員(庄原赤十字病院院長)の代理で出席した鎌田副院長が、次のとおり報告した。</p> <p>■ 現状ではコロナ専用病棟を引き続き運営していく必要があり。今年度において減床することは非常に難しいため、ダウンサイジングについては見送ることとした。</p> <p>○ 庄原赤十字病院のダウンサイジングに関する具体的なことについては、来年度の調整会議において調整されることが確認された。</p> <p>《質疑・意見等》 特になし。</p>	
(2) 報告事項	
ア 令和2年度 病床機能報告の状況(確定値)について(資料2, 資料2-1) イ 令和3年度病床機能報告における広島県の定量的な基準の適用について(資料3) ウ 令和3年度以降の病床機能再編事業の審議の場、税制優遇創設など(資料4, 5)	
<p>○ 事務局から資料2~5によって報告事項ア~ウについて一括説明した。</p> <p>《質疑・意見等》</p> <p>■ 病床機能報告における広島県の定量的な基準に関して、コロナ患者のために病床を確保することとされているが、通年でレセプトデータを使う場合、実際には入院患者がいなかったなどの空床をどう取扱うか。国も決定とまでは言っていないようだが、広島県も含め早目に決定して皆に知らせてもらいたい。6月とか10月のデータだけでは不十分ということで通年にするとのことだが、通年にするるとこの病院の事務方も、レセプトのチェックで非常に時間と手間暇がかかる。本当にこの方法で良いのか、もう一度検証してもらいたいと思う。(中西副会長)</p> <p>○ コロナについて国が病床を確保することを宣言したが、知事会はかなり反発している。その辺りが不透明で、今後病床をどうしていくのかは決められない状況と思う。スケジュールありきで進めることに意味はなく、状況を見ながら圏域ごとにどうしていくのか、現場から声を上げていく必要がある。県の姿勢も、国が言っていることだから仕方ない</p>	

というのはわかるが、スケジュールありきではなく、現場・地域を守るために一番良いことを、調整会議で話し合っていくべきと思う。今後も皆さんの御協力をお願いしたい。
(鳴戸会長)

※出席者委員の分かるものを添付してください。

※報告書は複数枚になっても構いませんが、各協議内容について項目の整理をお願いします。

※参考となる資料があれば、併せて提出してください。